

基礎ゼミナール「労働運動の歴史に学ぶ」 熊沢誠

後期水曜日 18:30-20:00 不定期 4回

講義の主旨

「労働運動の歴史に学ぶ」この講座では、競争の労働市場にまずは個人として投げ出される労働者にとって、なぜ労働組合運動が不可欠な組織になるのかという「原論」からはじめます。次いで、世界の労働者がそれぞれの条件の中でどのような営みを育ててきたかを語り、この日本で、なぜ企業別組合が主流になってしまったのかを分析します。その上で、現在の日本での労働運動の現状を批判的に論じ、私たちの明日にとって必要で可能な労働運動の組織的な試みはなにかを提示することにしましょう。

できるだけエピソードの多い具体的な語りをするように努めます。私が担当する4講座それぞれの内容は次のとおり。講座ごとにレジメ・資料を配付する予定ですが、できれば参考書の拙著、『労働組合運動とはなにかー絆のある働き方を求めて』（岩波書店刊）をぜひご参照くださいますように。

毎回の講義テーマ

□10月18日（水）

- 1, 労働者にとってなぜ労働組合が不可欠なのか／未組織労働者に強いられる生きざま
- 2, 労働組合の生成ーその基盤／その思想／その機能ー産業内行動と政治行動
- 3, 労働組合運動の軌跡（1）
 - i 老舗の職業別組合（クラフトユニオン）ーイギリス機械工組合の物語
その担い手たち／その思想と機能／なぜ可能だったのか／その必然的な変遷
 - ii クラフトユニオン伝統（徹底した企業横断的性格）と再生

□11月15日（水）

- 1, 労働組合運動の軌跡（2）
 - i 一般組合（ジェネラル・ユニオン）の台頭ーイーストエンドのドック労働者から
その拡大／その特徴／現代アメリカの国際サービス労働組合のこと
 - ii 職場全員祖組織の産業別組合ーアメリカ自動車産業労働組合の物語
その背景／不熟練労働者のニーズ／流血の闘争／具体的な要求・政策の展開

□12月20日（水）

- i 職場全員組織の日本の変成ー企業別組合への道
戦前からの伝統
戦後労使関係の展開 ad.時期区分
- ii 諸領域の概観ー賃金闘争、職場の主導権、解雇問題への対応、組織上の選択

□1月17日（水）

- i 現代日本の労働組合運動はどこに問題があるか
企業別組合の唯一性を超えてー有効なさまざまな組織的営みについて
- ii 企業別組合の内部変革⇒産業別組合支部へ

iii 産業別単一組織――全港湾や全日本建設運輸連帯労組関西地区生コン支部の場合

iv 職業別団結・クラフトユニオンの可能性

v コミュニティ・ユニオンの意義

vi むすびにかえて